

平成29年度 予算に対する討論

討論
5会計

一般会計及び7会計すべて認定しました

一般会計

反対

竹原 亜生 議員

本予算は、4.3億円の財政赤字予算であり、財政計画に対しては、5億円の財政赤字となっている。

旧田中小のテニスコートは、既存の中央テニスコートの有効活用を考慮せず、将来の那須町財政を悪化させることになる。7千万円で購入した旧室井金物店は、黒田原活性化のために有効活用しておらず、無駄な維持管理費だけがかかっている。

那須町財政をより悪化させる本予算に反対する。

反対

小野 曜子 議員

福島原発事故、放射線汚染問題は終わっていない。新年度予算はますます注意が必要となる子どもの甲状腺の集団健康検査などが盛り込まれず十分とえない。

また子ども・子育て支援では小中学生のインフルエンザ予防接種への助成など評価される点も挙げられるが一方町立保育園の統廃合・民営化路線は豊かな保育環境づくりに逆行し、デマンド交通の充実、福祉タクシーの助成拡大などでは施策が不十分であり、よって本予算に反対する。

反対 2

高久 淳平 議員

賛成

本予算では町債の縮小。歳入歳出では建設工事や除染事業の終了に伴うものが主ではあるが前年比6.9%減と財政健全化に向けた努力が見られる。しかしながら定住促進、子育て・教育環境の充実、新たな農業支援対策など本町の喫緊の課題に積極的に取り組む予算編成であると考えられる。本予算執行がどのような効果をもたらすか監視、評価、そして大いに期待して本予算に賛成する。

薄井 博光 議員

賛成

住民基本台帳の平成29年度1月1日現在において、本町の人口はついに2万6千人を割りこんでしまっている。若者の流出の低減と定住促進のために、町営住宅の建設・子育て支援の充実など高い評価をしている。

スポーツ施設の新たな取り組みをするなど、大切な将来を見据えた予算になっている。よって平成29年一般会計予算の原案に賛成する。

賛成 13

国民健康保険特別会計

反対

小野 曜子 議員

国保税は町民にとって負担能力を超えていると言えるほど高い。

加入者は高齢化がすすみ、また所得が低い世帯が増加している。何とか引き下げてほしいとの声が上がっている。一般財政から繰り入れしてでも国保税を引き下げるべきではないかと質したがそれへの答弁はなく高い国保税の水準を変えようとする姿勢は見えない。住民の命と健康を守るために町はあらゆる努力と工夫によって国保税の負担を軽減すべきでありその姿勢がなく反対する。

反対 1

室井 高男 議員

賛成

本予算は、総額44億6300万円で昨年対比2千万円の増額であるが、本制度は相互補助の精神に基づく保険制度で後期高齢者、介護者への支援金や給付金を支出し、更に本予算は町民の健康づくりの増進にとっても欠かせないものであり賛成する。

賛成 14